

月日 ( 校時)	単元名	教材名
11月27日 (金) 4校時	分数	分数をくわしく調べよう
本時のねらい (7 / 9 時間) ○同分母の帯分数の加法計算の仕方を、帯分数の構造や既習の分数の表し方を基に考え、説明することができる。		
評価規準 思・考・表 同分母の帯分数の加法計算の仕方を、帯分数の構造や既習の分数の表し方を基に考え、説明している。(ノート・発言)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
<b>【導入】</b> <b>11:30</b>	○まとめ、ふり返りをペアで伝え合いましょう。 (前は $4/5 + 3/5$ をして、 $1/5$ を基にして計算することができました。)	・前時の学習のふり返りを する。
<b>【展開】</b> 問題提示 <b>11:32</b>  課題把握 ・問いの共有 <b>11:37</b> ・見通し  <b>11:42</b> ・シラバス  ・言語わざ ・算数用語  解決活動 ・自力解決 ・ペア学習  集団解決 ・全体学習 <b>11:52</b> ・考察 <b>12:02</b>  まとめ <b>12:07</b>	1 問題を読む。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <math>1\frac{3}{5} + 2\frac{1}{5}</math> の計算のしかたを考えましょう。                     </div> ○問題をみて、気が付いたことを発表しましょう。 ・今日は、 <u>2</u> 帯分数のたし算をします。 ・ $1/5$ を基に <u>5</u> して計算すればできそう。 2 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                         帯分数のたし算の仕方を考え、説明しよう。                     </div> ○学習の見通しをたてる。 ・整数と分数に分けて計算したらいいと思います。 ・仮分数に直して計算することもできます。 (自力解決(8分)・ペア学習(2分)・全体学習(10分)・考察(5分)・まとめ(3分)・練習問題(3分)・振り返り(2分)) 「つけたしや質問をしながら、言葉をつなげていく。」 (分母、分子、数直線、真分数、仮分数、帯分数) 3 帯分数どうしの計算のしかたを考える。 ○自分の考えをマイボードに書きましょう。 ・整数と分数に分ける方法だと、整数の計算では、 $1 + 2$ で $3$ 、分数で $\frac{3}{5}$ と $\frac{1}{5}$ をたして $\frac{4}{5}$ になる。整数と分数をたすと $3\frac{4}{5}$ になる。 ・仮分数に直すと、 $\frac{8}{5}$ と $\frac{11}{5}$ になり、たすと $\frac{19}{5}$ になる。 ○できてきた意見の似ている求め方や違う求め方を説明しましょう。 ・違う求め方でも答えは同じになっています。 ・整数と分数に分ける方法だと、仮分数に直さなくてもいいので、計算が早くて簡単になる。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <math display="block">1\frac{3}{5} + 2\frac{1}{5} = 3 + \frac{4}{5} = 3\frac{4}{5}</math> </div> 4 気づいたこと、考えたことを説明する。 ○帯分数はどうやって計算したらいいだろうか。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <math display="block">1\frac{3}{5} + 2\frac{1}{5} = \frac{8}{5} + \frac{11}{5} = \frac{19}{5}</math> </div> ・分数と整数に分けて計算するとうい。 ・仮分数に直して計算することもできる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                         帯分数のたし算のしかたは整数と分数に分けて計算する方法と仮分数に直して計算する方法がある。                     </div>	・テープ図を見て、答えのおよその大きさをつかませる。  準備物 マイボード、マジック  ・仮分数にするなら、かけ算をつかって、そろえることができることを想起させる。  ・グーパーチェックを行い、自力解決が難しい児童の数を把握する。*リーダー
<b>【終末】</b> 適用問題 ふりかえり <b>12:13</b>	5 練習問題をする。 P47 3番  6 学習したことを振り返る。	思・考・表 数直線を用いて、異分母の同値分数や大小関係について考え、説明している。(ノート・発言)